

実証事例一2

目視点検の省力化

目的

道路管理者では、巡回車両による目視点検（日常点検）を行っているが、巡回車両より高精細の4K/360カメラで撮影した映像（画像）を使って現場目視から画像判断に置き換え、点検業務の省力化を図る。

やりたい事

- ・ 日常点検項目を画像判断（AI検知含む）に置き換え、巡回回数、降車点検の削減
- ・ 映像（画像）を蓄積し、損傷箇所の経時変化や進展度合いを確認
- ・ 撮影映像（画像）から点検報告書を作成
- ・ 損傷、変状のAI認識モデルを作成し、自動認識（リアルタイム検出or事後検出）

課題

- 走行車両からの
- ・ 高画質な画像の取得（ブレのない画像で損傷を確認する）
 - ・ 正確な位置情報の取得（同一場所の経時変化を確認するため）

モデルケース

